

ひょうご部落解放・人権研究所

HB 通信

Hyogo Buraku Liberation and Human Rights Research Institute

編集・発行 /

社団法人 ひょうご部落解放・人権研究所

〒 650-0022

神戸市中央区元町通 6-7-10

元町関西ビル 4 階

TEL:078-367-8925 FAX:078-367-8924

e-mail:blrhyg@osk3.3web.ne.jp

URL:http://www3.osk.3web.ne.jp/~blrhyg/

2008 年度人権問題講座「犯罪被害者の現状と支援」プレ企画

犯罪被害者等基本法ができるまで

来る 8 月 30 日（土）、「犯罪被害者の現状と支援」というテーマで、高松由美子さんを講師に迎え、人権問題講座を開催します（3 面参照）。それに先立ち、犯罪被害者（遺族を含む、以下、被害者と略）への支援に関する画期的な法律、犯罪被害者等基本法ができるまでの状況を、簡単に紹介しておきたいと思えます。

被害者の方々の運動と三菱重工爆破事件などがきっかけとなって、1981 年に犯罪被害者等給付金制度が始まります。しかし、制度の対象と認められる人は非常に少なく、給付金の額も十分なものではないなど、被害者を支援するというには程遠いものでした。また、裁判の傍聴を希望しても特別な配慮はなく、傍聴希望者が多いときには抽選に参加しなくてはならず、抽選に外れたら傍聴できませんでした。賠償金を請求する場合も、事件に関する情報をほとんど入手することができないこともあり、非常に困難でした。それに、勝訴しても、加害者側の都合で賠償金が全額支払われないことも多いのです。こういった制度的な問題の他にも、マスコミ報道や、周囲の人たちの心無い噂などにより、被害者側が傷つけられることも度々あります。被害者側にも落ち度があるとし誹謗中傷を受けたり、親族を殺されて賠償を求めると、金目当てだと批判されることもあるといえます。

つまり被害者は、加害者からの精神的、身体的な打撃ばかりでなく、多くの 2 次被害を受けることとなります。にもかかわらず、被害者は、長らくほとんど支援を受けることができない状態のままでした。

新着図書

4月

- 『「水平社伝説」からの解放』（朝治武、黒川みどり、関口寛、藤野豊著、かもがわ出版、2002.12）
- 『「水保」の言説と表象』（小林直毅編、藤原書店、2007.6）
- 『西宮現代史』第 1 巻 I（西宮現代史編集委員会編、西宮市、2006.12）
- 『西宮現代史』第 1 巻 II（西宮現代史編集委員会編、西宮市、2007.12）
- 『西宮現代史』第 2 巻（西宮現代史編集委員会編、西宮市、2002.3）
- 『西宮現代史』第 3 巻（西宮現代史編集委員会編、西宮市、2004.12）
- 『戦後期アイヌ民族—和人関係史序説』（東村岳著、三元社、2006.5）
- 『回顧十年』（兵庫県清和会、1933.10）
- 『清和』第 5 年 11 月号（兵庫県清和会）
- 『欲望問題』（伏見憲明著、ポット出版、2007.2）
- 『部落解放運動への提言』（部落解放運動に対する提言委員会編、部落解放同盟中央本部、2008.3）
- 『創氏改名—日本の朝鮮支配の中で』（水野直樹著、岩波書店、2008.3）
- 『日本古代奴婢の研究』（神野清一著、名古屋大学出版会、1993.12）
- 『改善・融和事業関係新聞資料』（高木伸夫氏収集）
- 『悲田院長史文書』（長史文書研究会編、部落解放・人権研究所、2008.5）
- 『部落問題論への招待 資料と解説』第 2 版（寺木伸明・野口道彦編、解放出版社、2006.4）
- 『「悪いこと」したら、どうなるの?』（藤井誠二・武富健治著、理論社、2008.3）
- 『人権年鑑 2005-2006』（部落解放・人権研究所編、同、2006.3）
- 『人権年鑑 2007』（部落解放・人権研究所編、同、2007.3）
- 『人権年鑑 2008』（部落解放・人権研究所編、2008.3）
- 『屠場 みる・きく・たべる・かく』（三浦耕吉郎編著、晃洋書房、2008.4）
- 『入門 民衆と差別の歴史』（松下志朗著、明石書店、1992.11）
- 『部落史ゆかりの地』（宮武利正著、解放出版社、2006.9）
- 『水平社宣言・解放歌』（守安敏司・藤田正・朝治武著、解放出版社、2005.10）

5月

- 『太閤検地と石高制』（安良城盛昭著、日本放送出版協会、1969.7）
- 『部落問題 資料と解説』第 3 版（解放出版社編、同、1981.6）
- 『二〇〇七年度部落史連続講座講演録 京都の被差別部落と仕事』（京都部落問題研究資料センター編、同、2008.3）
- 『戦後在日朝鮮人の民族教育擁護闘争—「4.24 阪神教育闘争」60 周年を記念して』（権寿根著、在日朝鮮人兵庫県民族教育対策委員会、2008.4）
- 2008『在日朝鮮人歴史・人権週間』リーフレット（『在日朝鮮人歴史・

6月

- 【DVD】『PERMANENCIA ヘルマナンシア：この国にとどまって』（製作/監督：エリオ・イシイ）
- 『七夕しぐれ』（熊谷達也著、光文社、2006.10）

7月

- 『命あるかぎり』（河野義行著、第三文明社、2008.6）
- 『学力の社会学』（刈谷剛彦・志水宏吉編、岩波書店、2004.12）
- 『希望』上下（吉岡那津子著、新日本出版社、1987.9）

被害者支援について、欧米等では1960年代から関心が高まり、支援体制の整備が進んでいきました。1985年には国連で、「犯罪及び権力濫用の被害者のための司法の基本原則宣言」が採択されました。宣言では被害者の尊厳に対して尊敬のある取り扱いをすること、情報提供、支援制度の整備などが提言されましたが、日本ではあまり注目されなかったようです。

そんな状況のなか、1995年、地下鉄サリン事件が起きました。多くの報道により、被害者の苦悩が広く認識されるようになります。そして、2000年1月、全国犯罪被害者の会（あすの会）が設立され、犯罪被害者自身の運動が状況を大きく変えていくこととなります。

様々な困難のなか、運動が実を結び、2004年12月には犯罪被害者等基本法が成立しました。第3条では「すべて犯罪被害者等は、個人の尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい処遇を保障される権利を有する。（中略）犯罪被害者等のための施策は、犯罪被害者等が、被害を受けたときから再び平穏な生活を営むことができるようになるまでの間、必要な支援等を途切れることなく受けることができるよう、講ぜられるものとする」と謳っています。基本法が成立したこともあり、現在では被害者を支える仕組みが徐々にできつつあります。

以上、簡単に基本法ができるまでの状況を見ました。講座当日には、実際に運動に関わっておられる高松さんより、より具体的、かつ詳細なお話をきくことができると思います。いつ誰が被害者になってもおかしくありません。自分にも関わりあることとして、この問題を考えるよい機会となれば幸いです。（文責：編集部）

(社) ひょうご部落解放・人権研究所

2008年度人権問題講座

「犯罪被害者の現状と支援」

—過去・現在・未来—

講師：高松由美子（少年事件遺族）

ある日突然、それはおきます・・・

犯罪や事故に大切な人が巻き込まれたり、自身が被害者となる可能性は誰にでもあることです。

そんなとき、あなたはどうしますか？

今回の人権問題講座では、被害者が遭遇するさまざまな問題や被害者支援の現状と課題などについて、NPO法人ひょうご被害者支援センターの高松由美子さんにお話をいただきます。

◇日時：2008年8月30日（土）
午後2:00～4:00

◇参加費：無料
どなたでもご自由にご参加ください。

◇会場：神戸市教育会館 404号室
神戸市中央区中山手通4丁目10番5号
（ラッセホール隣り）

TEL：078-222-4111

- JR・阪神「元町」駅（東口）より
鯉川筋北へ徒歩10分
- 市営地下鉄「県庁前」駅（東1番出口）
より東へ徒歩5分

◇お問合せ：(社) ひょうご部落解放・人権研究所
TEL：078-367-8925
E-mail：blrhyg@osk3.3web.ne.jp

♪ 研究所のご近所さん ♪

『すーぷ房くだら』

元町高架下、通称元コーの3丁目。花隈駅の近くにあるのが今回の“ご近所さん”である『すーぷ房くだら』。韓国の伝統的な小物が飾られた店内には、木のぬくもりが感じられるテーブルと椅子が並んでいます。

席についてほっこりしながら、「今日は何を食べようかな・・・♪」

田舎やさいスープ、こりこりスープ、ピリ辛とうふスープ・・・。



いつも悩みながらも、結局えらんでしまうのが、お気に入りのすじスープ。

ぐつぐつとやわらかく煮込まれた牛すじと玉ねぎや

ネギがいっぱい、栄養満点・コラーゲン満点のあつあつスープに、ごはんと日替わりで小皿がついてきます。今日の小皿は、チヂミと大根のキムチ。

韓国のお箸とスプーン（チョッカラとスッカラ）でいただきます♪真鍮のお鍋で出してくれるので、時間がたってもあつあつのままです。汗をかきながらいただくうまみたっぷりのスープは激マシッソヨ (>_<) ☆です♪ごはんにのせて、おじや風にさせていただくのもおすすめの食べ方です♪

こんなにおいしくてお腹いっぱいになるのに、すじスープのお値段はなんと700円。ぜひ、一度食べに行ってみてください♪ (ひ)

田舎やさいスープ……650円
こりこりスープ……700円
ピリ辛とうふスープ…750円

〒650-0014
神戸市中央区元町高架通3-227
TEL&FAX:078-360-5458

営業時間—11:00～23:00
定休日—水曜日

部落解放研究第 29 回兵庫県集会

『世界人権宣言』から60年一今、見つめなおし問いかける「人権」とは—

●開催日：2008年11月16日(日)

●会場：ラッセホール

〒650-0004

神戸市中央区中山手通 4-10-8

TEL:078-291-1117

●参加費：2500円

(参加費・当日資料・報告書・弁当代を含む)

●記念講演(10:00～12:00)

「人権」とはなにか

—人権・平和・わたしたちの生活—

講師：ロニー・アレキサンダー

プロフィール

神戸大学大学院国際協力研究科 教授(トランスナショナル関係論・平和学)。1977年来日、広島にて勤務。1982年に平和を研究するために大学院へ。1989年、神戸大学法学部助手。1993年に現職。研究のみならず、平和・人権運動にも積極的にかかわる。

現在、自作の絵本『ポーポキ、平和ってなに色?』(エピック、2007年)を中心に、「ポーポキ・ピース・プロジェクト」を通して国内外で幅広く「平和を感じる」教育活動を展開している。

●分科会(13:00～16:00)

「これからの部落解放運動」(シンポジウム)

「えん罪と裁判員制度」

「インターネットにおける差別の現状と人権啓発の課題」

「新学習指導要項と人権教育」

「働く現場から」- 県内自治体の就労現場の実態と企業の人権啓発活動 -

●学習会(13:00～16:00)

「近世部落史」の見方・考え方

●学習交流会(13:00～16:00)

「犯罪と障害者～累犯障害者問題を考える～(仮題)」

●主催：部落解放研究第29回兵庫県集会実行委員会

※お問い合わせ・お申し込みは県研実行委員会事務局(ひょうご部落解放・人権研究所内)まで
→ TEL:078-367-8925 E-mail:blrhyg@osk3.3web.ne.jp

○同時開催

『世界人権宣言』パネル展(「やさしいから人なんです展」パート20 実行委員会)

今年度「やさしいから人なんです展」パート20では、「世界人権宣言」60周年を迎えるにあたり、全30条の条文すべてと、現在も世界で起こっている紛争や、戦争の悲惨さを訴える写真をパネルにしました。「世界人権宣言」をあらためて見つめなおし、「人権」とはなにか、みなさんとともに考えたいと思います。



碩家権先生・語る会 演題『無題』

戦後の早い時期から、「部落」差別問題の調査に関わり、兵庫部落解放研究所の所長、豊中市や伊丹市の同和对策関係の役職を歴任されてきた先生に、今ある自分を語っていただき、その後先生を囲んで懇親会をしたいと思います。先生と関わりのあると思う人はどなたでも参加してください。

世話人：池田千津美(NPO 法人伊丹人権啓発協会)、加藤昌彦(関西外国語大学)、北山雅博(関西学院大学人権教育研究室)、田中欣和(関西大学名誉教授)、日野謙一(NPO 法人伊丹人権啓発協会・関西学院大学)、三浦耕吉朗(関西学院大学)、安田敏彦(部落解放同盟兵庫県連合会伊丹支部)(50音順)

●日時：2008年9月13日(土)

語る会：午後2:00～4:00

懇親会：午後4:00～6:00

●参加費：4000円(当日徴収します)

●お問合せ：参加される方は準備の都合がありますので、下記まで連絡してください。

NPO 法人伊丹人権啓発協会
(「おるかの会」)

〒664-0871 兵庫県伊丹市堀池 3-1-22

TEL&FAX：072-779-6141

●場所：兵庫県伊丹市立人権センター
伊丹市堀池 2-2-20
TEL：072-781-6006

<劇団道化座のいえノイ公演 No.153>

父と暮せば 作/井上ひさし 演出/須永克彦

二度と起こしてはならない広島の悲劇。
独特の笑いと涙で生きる喜びを謳いあげた井上ひさし氏の名作!

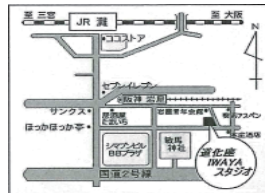
●日時：2008年9月6日(土) 19:00

9月7日(日) 14:00

●会場：劇団道化座【IWAYA】スタジオ
JR 灘駅より徒歩7分/阪神岩屋駅より徒歩5分

●お問合せ・お申込み

劇団道化座 〒657-0845
神戸市灘区岩屋中町 4-4-7
TEL:078-803-2458
FAX:078-803-2459
E-mail:dougeza@kcc.zaq.ne.jp



●料金

前売：一般 2000円

大学生 1500円

中高生 1200円

親子ペア 2500円

当日：一般 2500円

大学生 2000円

小中学生 1500円

(親子2名) ※前売りのみ

2008年度第2回人権セミナー

「^{かわ}革づくりから学ぶ」(姫路市^{ごちゃく}御着フィールドワーク)

皮革は、昔から多くの人々に使用され、現在においても生活の多くの分野で利用されています。皮革の仕事は、中世以来被差別部落の伝統的な仕事の一つでした。職人たちが長年の技術と経験をひまえて作りあげた皮革製品は、全国に広く流通していきました。

今回の人権セミナーでは姫路市御着を訪れ、製造工程の実演や、町に残る皮革工場を見学しながら、皮革産業の歴史を学びます。たくさんのおみなさまのご参加をお待ちしております。

日時：2008年10月11日(土)
午後1:00～4:00

集合場所：JR 神戸線御着駅
(JR 神戸→御着 所要時間「快速」約1時間)

講師：柏葉嘉徳(皮革研究家)
太田恭治(ひょうご部落解放・人権研究所研究員)

定員：20名

参加費：無料(但し、事前申込みが必要。定員になり次第、締め切ります)

行程：1:00 西御着総合センター皮革資料室見学
2:00 「革づくり実演と講演」
実演：鞣し、裏漉き作業など
講演：革づくりの歴史
3:30 工場見学：タンニン鞣し、クロム鞣し工場
4:30 御着駅解散

※お申込み・お問合せは↓
(社)ひょうご部落解放・人権研究所まで
TEL:078-367-8925
E-mail:blrhyg@osk3.3web.ne.jp

写真展「対岸の肖像～BURAKUとのかけ橋～」
とスライド、トークセッション

今秋、関西学院大学と研究所の初のコラボレーションイベントが実現します(*>_<*)♪♪♪被差別部落にアイデンティティをもつ13名と1組のメッセージと写真展です。

10月27日(月)には関西学院大学の学生有志の方達と部落解放同盟兵庫県連合会の青年部有志の方達のトークセッションも行います。参加費無料・事前申し込みも不要ですので、ぜひぜひ足をお運びください♪

I. 写真展

開催期間：2008年10月20日(月)～10月29日(水)
(日曜日は休館)
開催時間：午前9時(初日は0時30分)～午後10時
(土曜日は午後6時30分まで)
会場：関西学院大学図書館エントランスホール

II. スライド及びトークセッション

開催日時：2008年10月27日(月)
午後3時15分～6時
会場：関西学院大学図書館ホール
トーカー：関西学院大学学生有志
部落解放同盟兵庫県連合会青年部有志

お問合せ：関西学院大学人権教育研究室
TEL:0798-54-6720

※詳細は同封のチラシをご覧ください。

第29回
全国在日外国人教育研究集会・兵庫大会

【テーマ】
多文化共生社会の実現にむけて、学校や地域の教育実践を交流し、さらに人びとのつながりを深めよう

●日程

- ◇8月22日(金)…フィールドワーク
全国在日外国人生徒交流会(～23日)
- ◇8月23日(土)…11:00～受付開始
12:00～全体会
13:00～地元報告
16:30～生徒アピール
17:30～全国交流会
- ◇8月24日(日)…9:00～受付
9:30～分科会
16:30～閉会行事

●費用

大会参加費…4500円 フィールドワーク参加費…1000円～
全国交流会参加費…3500円

●お問合せ

第29回全国在日外国人教育研究集会・兵庫大会地元実行委員会
TEL:078-231-0290/FAX:078-231-3080
e-mail:kengaiky@jeans.ocn.ne.jp

※詳細は同封のチラシをご覧ください。

先着5名様限定!当研究所で、チケットをお譲りいたします。ご希望の方はお電話、またはEメールでお願いします。締め切りは8月20日(水)です。お早めに!
電話：078-367-8925/Eメール：blrhyg@osk3.3web.ne.jp

♪本誌の名称決定!! m(*>_<*)m ♪♪♪

本誌創刊号で誌名の募集をいたしましたところ、24点のご応募がありました。本当にありがとうございました。

どれも素晴らしく、なかなか決めることができませんでしたが、熟慮の結果、部落解放同盟兵庫県連合会上の島支部青年部の方よりご提案いただいた「HB」に決定いたしました。今号より『ひょうご部落解放・人権研究所 HB通信』という誌名でお送りいたします。

ご提案者によると「HB」には次のような意味がこめられているとのことでした。

①「ひょうご部落解放」の頭文字、②ラグビーのHB(ハーフバック:前衛の選手と後衛の選手をつなぐ役の選手)から、読者と様々な人権問題に関わる取り組みを、人と人をつなげていくということ、③野球のベースの中心であるホームベースから、研究所が研究・啓発の中心的役割を果たさなければならないということ、④書くために用いるHBの鉛筆から、研究所や人権問題に関する取り組みを書くことによって伝えていくということ。②～④を実行していくは容易なことではありません。研究所に大きな課題をいただいたと思い、身の引き締まる心地です。

誌名に負けないよう、内容の充実をはかっていく所存ですので、今後とも宜しくお願いいたします。

会費、定期購読料納入のお願い

2008年度正会員会費・特別会員会費、2007年度定期購読料の納入がお済でない方がおられましたら、下記の講座に納入くださいますようよろしくお願い申し上げます。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

—お振込先—

【銀行】三井住友銀行 兵庫県庁出張所
普通預金口座 3036147

社団法人 ひょうご部落解放・人権研究所
理事長 橋本幸雄

【郵便振替】 01120-9-22433

社団法人 ひょうご部落解放・人権研究所